

理事長 × 新入職員



理事長インタビュー

ナスバはこれからどう成長していくのか

令和5年度本部採用の新人3名で理事長インタビューをさせていただきました。
このインタビューを通じてナスバを志望する方にたくさんの魅力が
伝わるように、という目的でこの機会を設けていただきました。（令和5年9月実施）



理事長
中村 晃一郎

×



総務部
木戸



経理部
鳥塚



被害者援護部
柳町



1. 組織としての誇り



本日はよろしくお願いいたします。

早速ですが、ナスバはもうすぐ50周年を迎えますが、ナスバの魅力を教えてください！



3人の皆さんもそれぞれにナスバの魅力を感じていると思います。

私としてはまずなんといってもナスバは世の中に貢献する大義を持った活動をしている組織であること、そういう組織の一員であることに素直に誇りが持てることが一番の魅力だと思います。

自動車事故の防止と事故被害者の支援を両輪に取り組んでいるナスバは日本で唯一の自動車事故対策の専門機関であるだけでなく、世界でも例をみないユニークな存在です。

そういう唯一無二の存在であることもナスバの魅力になっていると思います。

また、ナスバは自動車事故被害者に寄り添って、精神的・金銭的支援の手を差し伸べながら、被害者の方やそのご家族から感謝の言葉を頂く場面が本当に多くあり、そのことが働く喜びや満足感につながっている、これもナスバで働くうえでの魅力ではないでしょうか。



大義ある組織であるということに誇りがあるとともに、唯一無二の存在ということに大きな意味があるナスバにて活躍できる人はどんな人ですか。



被害者援護業務や安全指導業務等一つ一つの業務がバラバラに行われるのではなく、それら全体がナスバという組織を構築しているわけです。

活躍する人はたくさんの業務の経験を通じて、全体を自分の中で俯瞰できるような人ではないでしょうか。

2. 安心・安全・快適な社会づくりに貢献する



社会が大きく変化の中で、ナスバが引き続き社会に貢献していくためにはどうしていくべきでしょうか。



私たちが暮らす社会は、テクノロジーの進化や気候変動の激化など様々な要因によってこれからもどんどん変化していきますが、自動車の世界も電動化や自動運転がこれから急速に進んでいくと思います。しかし電動化や自動運転が進んでも自動車事故を0にするのは非常に多くの課題と困難があります。

ナスバとしては自らの使命を果たしていく上でクルマ社会を取り巻く様々な変化に対応していく柔軟性が必要ですが、一方で被害者の味方として被害者に寄り添い続ける姿勢だけは何かあっても不変でなければなりません。

これからもナスバが社会に貢献し続けていくためには、ナスバを取り巻く環境の変化をしっかりと見極めながら、後追いではなく、先読みして体制や仕組みを変えていく洞察力、スピード感や感性が大事になると考えています。

3. 頼れる組織であるために



ナスバの使命実現のために職員に期待することは何ですか。



この質問への答えはNASVAWAY2026の5つのメッセージにこめられている、と言えますが、加えて申し上げれば、職員の皆さんには、ナスバをもっと良い組織にしていく、より良いナスバを作っていくのは、誰かがやってくれる仕事ではなく、自分がその実現の一員であるという当事者意識を常に持ってもらいたいと思っています。

その為には問題意識や見識も深めながら意見や提案を遠慮無く述べて、上長や仲間と活発に議論してほしいと思います。それらを通じてナスバが変化に向き合い、成長し続ける集団になればこんな素晴らしいことはありませんし、それは職員の皆さんの日々の喜びや満足感に必ずつながっていく、そう思います。



一人一人が当事者意識を持つことはとても重要なことであると思います。私たちのような新入社員に対して求める人物像は何ですか。



常に熱意をもって仕事に取り組んでほしいということです。

熱意があれば疑問も出てきて、疑問が出てくればきくことによって学びが出てくる。そして成長していく。なんとなく仕事をするのではなく、ナスバの一員として自分も成長していきたい、良い仕事をしていきたいという思いを強く持っていただきたいですね。最初の1、2年はいろんなことを間違ったりミスしたりすることは当然あります。それでも熱意があればミスをしたときにそれが反省や学びになり、成長に繋がっていくと思います。



4. 風通しの良い職場



休日の過ごし方を教えてください。



これまで長いこと仕事をしていますが、忙しい時こそオンとオフの切り替えが大事だということを実感しています。いかに心身をリフレッシュするか。決して簡単ではないのですが、そういう意味で出来る限り休日は仕事のことを頭から切り離すように努力しています。完全には切り離せていませんけどね。

自分は色々な趣味があるので、休みにしたいことはたくさんありますが、優先順位は今はアウトドアではゴルフ、インドアではプロ野球観戦と映画鑑賞です。

ゴルフは以前の仕事では取引先とプレーする機会がかなり多くて、スコアもそれなりに改善したのですが、今は機会がそこまで多くなく、年齢から来る衰えのせいか、上達が止まってむしろ後退気味なのが遺憾なところですよ。(笑)

でもスコアは別にして青空のもとで気の合う仲間とのびのびとプレーするゴルフは良いリフレッシュになります。野球は子供の頃から阪神タイガースファンで、今年も契約しているケーブルテレビで録画を含めて阪神のほぼ全試合を見ました。今年は18年ぶりの優勝で最高でした。



社会人になって始めてよかった趣味等ありますか。



山登りを社会人になって始めました。白馬岳や谷川岳、唐松岳などを登りました。

結構大変でしたが、山頂に登った時には達成感や喜びがあります。

富士山も3回登りましたが、3回とも8合目半で仮眠をとり、登頂をする直前に天候が悪化して下山命令が出たりと一度も登頂ができていないんですよ。(笑)



それでは最後にナスバを目指す人へのメッセージをお願いいたします。



ナスバは自動車事故の防止と事故被害者の支援に取り組む自動車事故対策の専門機関として50年の歴史のある、大義ある取り組みをしている独立行政法人であり、その一員であることに素直に誇りを持って組織です。ナスバが更に前進し成長していく上で、ナスバの大義に共感し、熱意を持って取り組んでいただける一人でも多くの方に仲間になっていただきたいと思っています。



本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました！

◎ 最後にインタビューを終えて



入社して理事長とお話する機会をいただけてとても勉強になりました。改めてナスバの一員としての自覚と誇りをもって仕事に取り組んでいこうと思いました。



どんな質問にも気さくに答えてくださり、とても楽しい時間でした。私たち自身も意識を高く持って日々の仕事に取り組んでいきたいです。



理事長のお話から、ナスバの意義だけでなく、自身が担当する業務に対しても理解が深まりました。今後も向上心をもって、業務に取り組みます。

